

# 会社案内

Henkel in Japan



会社案内  
ダウンロードはこちら



ヘンケルジャパン株式会社

 [www.henkel.co.jp](http://www.henkel.co.jp)

 [www.facebook.com/HenkelJapan](https://www.facebook.com/HenkelJapan)

## Our history and global presence

# 145年を超えて イノベーションへの挑戦

ヘンケルは、「アドヒーズブ テクノロジーズ(接着技術)」と「コンシューマーブランド」の2つの分野で事業を展開するグローバル企業です。ヘンケルは、ドイツのデュッセルドルフに本社を置き、世界中に約48,000人の社員を擁しています。

ヘンケルの歴史は、1876年9月26日、28歳のフリッツ・ヘンケルが2人のパートナーとともにドイツのアーヘンにヘンケル&シー社を設立し始めました。漂白ソーダに始まった事業は、1907年に発売された洗浄力と白さが際立つ画期的な洗剤「パーシル」によって、飛躍的な発展を遂げます。その後も、環境への配慮から今日ではスタンダードとなっている洗剤の無リン化をいち早く実現し、世界初のスティックのりを生み出すなど、ヘンケルの歴史はたゆみない革新の歴史でした。

## グローバル本社、7つのリージョナルオフィスと日本



**1876** .....  
フリッツ・ヘンケル、ドイツのアーヘンに  
洗剤工場ヘンケル & シー社を設立



**1878** .....  
ヘンケルの漂白ソーダが  
社業成功の端緒となる  
デュッセルドルフに会社を移転



**1898** .....  
薬剤師のハンス・シュワルツコフ、  
ドイツのベルリンに小さな薬局を開業



**1907** .....  
世界初の自己活性化洗剤「パーシル」を発売



**1903** .....  
シュワルツコフが、  
ドイツ市場初の  
洗髪パウダーを発売



**1929** .....  
ヘンケル初の業務用クリーナー「P3」を発売



**1922** .....  
接着剤の製造開始



**1949** .....  
シュワルツコフが後に大きな成功を収めた  
「シャウマ」シャンプーを発売



**1969** .....  
世界初のスティックのり  
「プリット」を発売

**1983** .....  
ドイツ初の無リン衣料用洗剤を「ディクサン」ブランドより発売

**1995** .....  
ハンズ・シュワルツコフ社を買収

**1997** .....  
ロックタイト社買収により、接着剤事業における  
リーディングカンパニーとなる

**1999** .....  
ロックタイト社買収により、接着剤事業における  
リーディングカンパニーとなる

**2004** .....  
ダイアル社を買収

**2008** .....  
ナショナルスターチ社とその関連会社の接着剤  
および電子材料事業を買収、  
接着剤事業を大幅に強化

**2014** .....  
パークイスト社他 4 社を買収し、  
3 事業を強化

**2016** .....  
サン・プロダクツ社を買収し、  
北米ランドリーケア市場で 2 位に

**2017** .....  
メキシコのヘアケアメーカー、ナトゥーラ・ラボラトリオス社を買収

**2022** .....  
資生堂のアジア太平洋地域における  
プロフェッショナルヘアビジネスを買収



## Our culture

# 社員の多様性が 新たな価値を 生み出します

私たちの企業目的である

「Pioneers at heart for the good of generations」は、ヘンケルで働くすべての社員を結びつけるものです。私たちは、世界中に約 48,000 人の社員を擁する多様性に富んだチームであり、当社の製品、サービス、ソリューションを通じて毎日の生活を豊かにし、向上させることを目指しています。この目的は、当社のルーツから生まれたものであり、長年にわたるイノベーション、責任、サステナビリティの伝統を未来に引き継いでいます。共通の価値観とリーダーシップコミットメントが、私たちの日々の意思決定と行動の指針となっています。



## Our purpose

### Pioneers at heart for the good of generations

1876 年、起業家であり、勇気ある真の先駆者であるフリッツ・ヘンケルは、人々の日常生活に革命をもたらしました。そこから、社員、社会、環境への配慮という伝統が始まりました。彼は、サステナビリティという概念が存在するずっと以前から、サステナビリティを第一に考えていました。

現在でも、ヘンケルという名前はこれらの価値観を体現しています。私たちは一体感を持つことで、お客様に信頼される多様性に富んだコミュニティを実現し、製品、サービス、ソリューションを通じて、毎日何十億もの人々の生活を豊かにし、向上させています。また、さらに多くの影響をもたらす可能性も秘めています。

私たちは、次世代に向けて意義ある未来を形作るために、先駆的な精神、知識、リソースに基づいて前進していきます。私たちは、イノベーションとテクノロジーにより、お客様のために価値を創出し、チームに成功をもたらし、世の中のためになる企業となります。

## Our values

私たちのバリューはすべての行動規範、意思決定、アクションのもとになるものです。



### Customers and Consumers

私たちの活動の中心はお客様です。



### People

私たちは社員を尊重し、奮起させ、成果を称えます。



### Financial Performance

私たちは持続可能な卓越した財務パフォーマンスを目指します。



### Sustainability

私たちはサステナビリティにおけるリーダーとなるべく、全力で取り組んでいます。



### Family Business

私たちは家族企業という文化を基盤として、強力な起業家精神にのっとり未来を構築します。

## Adhesive Technologies

# 私達の暮らしを さまざまな形で 支えています

アドヒーズブテクノロジーズ（接着技術）事業部門は、接着剤、シーリング剤、機能性コーティング剤において世界をリードするソリューションプロバイダーです。

自動車やエレクトロニクス、食品パッケージ・消費財などで使用される工業用接着剤から、建築用接着剤、家庭用接着剤・補修剤に至るまで、幅広いニーズに合わせた接着剤や機能性コーティング剤を提供するとともに、安全性や環境にも配慮した製品と最新のソリューションをお届けしています。世界中に研究・開発やマーケティング拠点を展開するヘンケルは、お客様の海外生産計画にもきめ細かく対応することができます。また工業用接着剤の研究・開発で培った成果は、コンシューマー向け接着剤である「ロックタイト」や世界初の口紅型スティックのり「プリット」の進化にも結びついています。ヘンケルの接着剤が工業用だけでなく、コンシューマー用でもマーケットリーダーである理由はここにあります。



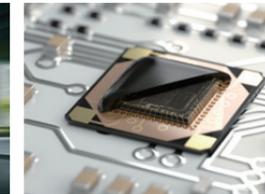
## 3つの事業本部

### モビリティ&エレクトロニクス事業本部

モビリティ&エレクトロニクス事業本部では、自動車、エレクトロニクス、産業の分野で、テラーメイドのソリューションと専門的な技術サービスを世界中のお客様に提供しています。ヘンケル独自の技術ポートフォリオと市場を熟知したノウハウを活かして、先端の半導体や電子部品、電動化、コネクティビティ、自動運転、そして産業の脱炭素化など、グローバルトレンドをけん引しています。



自動車に



半導体組み立てに



航空機部品に

### パッケージング & コンシューマーグッズ事業本部

パッケージング&コンシューマーグッズ事業本部では、消費財メーカーやブランド品メーカー、パッケージング業界に向けて革新的なソリューションを世界中のお客様に提供しています。強固な信頼関係のもと、お客様のブランドと製品に更なる価値を付与しています。ヘンケル独自の技術ポートフォリオと市場を熟知したノウハウを通じて、持続可能性、循環型経済の促進、最高水準の食品安全性の確保といったグローバルトレンドを先導しています。



紙おむつに



パッケージに



缶に

### クラフトマン、コンストラクション & プロフェッショナル事業本部

クラフトマン、コンストラクション&プロフェッショナル事業本部では、800以上の業界セグメントで、消費者や職人、建設、製造、メンテナンスのプロフェッショナルにインパクトのあるソリューションを提供しています。私たちは、強力なグローバルブランドプラットフォームを通じて、お客様のために革新的な製品とソリューションを生み出しています。そして、持続可能な建築、DIY、スマート製造、予防保全などの新たな技術トレンドの形成にグローバルで取り組んでいます。



プリット



ロックタイト  
(瞬間接着剤)



シスタ



ねじゆるみ止めに



建築材料に

## Consumer Brands

# マルチ カテゴリー・ プラットフォーム

コンシューマーブランドは、ランドリー & ホームケアとビューティーケアを1つの事業部門に統合したマルチカテゴリー・プラットフォームです。象徴的なトップブランドであるSchwarzkopf (シュワルツコフ)、Syoss (サイオス)、Persil (パーシル)、all (オール)、などを含み、70カ国以上で事業を展開しています。日本ではシュワルツコフプロフェッショナルをはじめとするサロン向け事業と、コンシューマー向け事業を手がけています。ヘアカラー、ヘアケア、ヘアスタイリングをラインアップに持ち、コンシューマー向け製品は、そのサロン向け事業の技術と知識を最大限に活かして開発されています。

2022年には資生堂プロフェッショナルのアジア・太平洋地域における事業を買収し、私たちは、美容師やお客様と共に、人々に感動を与えるヘアビューティーを創造します。世界のトレンドと日本人の髪を知り尽くしているからこそできる、きめ細かく、行き届いたサービス・製品提案が大きな魅力です。



## 2つの事業本部

### プロフェッショナル事業本部 (サロン向け)



### コンシューマー事業本部 (コンシューマー向け)



### ASK Academy - アスクアカデミー - TOKYO

東京・天王洲に設立された美容教育のフラッグシップアカデミー。総面積678m<sup>2</sup>を誇るスペースは、教育プログラム実践の場としてだけでなく、イベント、セミナー、フォトセッションなどにも対応し、グローバルな情報を集約・発信するコミュニケーションの場としても機能しています。



## Sustainability

# 何世代にも わたって 効果をもたらす 変革

ヘンケルはサステナビリティのリーダーとして、責任を持って事業を拡大し、事業の成功に向けて取り組むと同時に、持続可能な発展のための新たなソリューションを生み出すことを目指しています。サステナビリティはヘンケルの意義ある成長アジェンダの中核です。サステナビリティは当社のバリューの1つでもあり、私たちの企業の目的である「Pioneers at heart for the good of generations」にも反映されています。先駆的な精神、知識、製品、技術によって、私たちは何十億もの人々の生活を日々豊かにし、向上させ、次の世代のために持続可能な未来を形作っていきたく願っています。



## ● 2030+ Sustainability Ambition Framework

ますます大きくなるサステナブルな経営の重要性や、お客様や社会からの高まる期待を反映するため、ヘンケルは「2030年以降の意欲的なサステナビリティフレームワーク (2030+ Sustainability Ambition Framework)」を新たに導入し、長期的なサステナビリティ戦略を強化しました。既存の目標に加えて、「地球環境の再生」、「地域コミュニティの繁栄」、「信頼されるパートナー」という3つの項目で新たな長期的な目標を設定し、さらなる前進を目指します。

### 私たちの企業目的 Pioneers at heart for the good of generations.

#### 何世代にもわたって効果をもたらす変革



##### 地球環境の再生

循環型経済、クライメート・ニュートラル、自然再生の実現に取り組みます。



##### 気候

業務と原材料を脱炭素化し、クライメート・ニュートラルな企業となります。



##### 循環性

業務、製品、パッケージ、テクノロジーを通して、循環性を推進します。



##### 自然

責任ある資源管理を徹底させ、森林、土地、水を中心として生物多様性を保護・回復します。



##### 地域コミュニティの繁栄

ビジネスとブランドを通じ、人々のより良い生活の実現に積極的に貢献します。



##### 公平性

ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョンを強化し、人権を尊重し、人々の生活向上を図ります。



##### 教育

生涯にわたる学習および教育を支援し、消費者がサステナビリティに配慮した行動を起こせるようにします。



##### ウェルビーイング

健康および幸福を増進させ、社会的発展を促進させます。



##### 信頼されるパートナー

品質と安全性の確保に真摯に取り組み、誠実な対応で事業の成功を実現させます。



##### パフォーマンス

事業成功の基盤である、クラス最高の製品パフォーマンスと化学物質の安全性を確実に提供します。



##### 透明性

透明性の高い報告、情報開示、エンゲージメントの面において、サステナビリティを事業がバナンスに組み込みます。



##### 協働

パートナーとともにサステナビリティへの影響を調整し、サプライチェーンにおける責任ある事業活動につなげます。

製品

人

パートナーシップ

## ● Plastic Bank (プラスチックバンク) とのパートナーシップ

ヘンケルは2017年にグローバル消費財メーカーとして初めて、海洋プラスチックの流出を食い止めて貧困に苦しむ人々に機会を提供することを目指す社会的企業である、プラスチックバンクとパートナーシップを結びました。パートナーシップの一環として、パッケージ材料の適切なりサイクルシステムが存在しないことが多い発展途上国で、リサイクルのインフラの改善に取り組んでいます。回収されたプラスチックを「ソーシャルプラスチック®」として、自社のパッケージに採用しています。



Henkel Japan

## 半世紀にわたり 日本のお客様と ともに

日本におけるヘンケルの活動は、1954年に神戸の小さな事務所から始まりました。以来、半世紀以上にわたる積極的な事業展開により、いまやヘンケルのアジア太平洋地域における重要拠点となっています。各種産業向けの接着剤・表面処理剤を提供する「アドヒーシブテクノロジーズ（接着技術）」と、コンシューマー向けカラーリング剤やサロン向けヘアコスメティックスを扱う「コンシューマーブランド」の2部門で事業を展開し、お客様のニーズに応じたきめ細かなサービスを提供しています。さらに、「アジアパシフィック技術センター」、「ジャパンビューティーイノベーションハブ」や「ASK Academy」などの研修・研究開発施設も設立。社会への貢献を図るとともに、新たな事業やテクノロジーの可能性を追求しています。



### 日本におけるヘンケルの歩み

年代	沿革
1954	• 日本に代表事務所設立
1975	• 東京白水株式会社にヘンケル社が50%出資、社名をヘンケル白水株式会社とする
1988	• 日本パーカライジング株式会社と包括技術提携を締結
1996	• ヘンケルジャパン株式会社に社名変更（出資比率：ヘンケル社100%）
1999	• ライオン株式会社と家庭用品に関する包括提携を締結 • セメダイン株式会社との合併企業、セメダインヘンケル株式会社を設立 • 東京本社を品川のスフィアタワー天王洲内に移転
2000	• 山発産業株式会社を買収し、ライオン株式会社との合併企業ヘンケル ライオン コスメティックス株式会社を設立
2001	• ヘンケルジャパン株式会社にロックタイト事業を統合
2002	• ヘンケルロックタイト・テクノロジーセンター・アジアパシフィック（現横浜/アジアパシフィック技術センター）を横浜市磯子にオープン
2003	• 日本の主要事業ならびに管理部門をヘンケルジャパン株式会社に統合 • ASK Academy TOKYOを東京・汐留に設立
2004	• ライオン株式会社との合併会社契約を解消、資本比率を変更
2005	• ヘンケル ライオン コスメティックス株式会社をシュワルツコフ ヘンケル株式会社に社名変更
2008	• ヘンケル社によるナショナルスターチアンドケミカル社の接着剤および電子材料事業買収に伴い、日本エヌエスシーの接着剤事業と日本アチソンを統合し社名をヘンケルテクノロジーズジャパン株式会社に変更、日本エイブルスティック株式会社はヘンケルグループとして展開
2009	• ヘンケルジャパン株式会社が、ライオン株式会社が保有するシュワルツコフ ヘンケル株式会社の株式約15%を取得、これによりシュワルツコフ ヘンケルは、ヘンケルジャパンの100%子会社となる • ヘンケルジャパン株式会社とヘンケルテクノロジーズジャパン株式会社が合併し、社名をヘンケルジャパン株式会社とする • 日本エイブルスティック株式会社をヘンケルエイブルスティックジャパン株式会社に社名変更
2011	• セメダインヘンケル株式会社をセメダイン株式会社に売却
2016	• ASK Academy TOKYOを東京・天王洲に移転 • ヘンケルジャパン株式会社とシュワルツコフヘンケル株式会社が合併し、社名をヘンケルジャパン株式会社とする
2017	• 自動車向けコンポジット部品のアジア全域の技術サポート拠点として、コンポジットラボを横浜市磯子に設立 • ヘンケル社によるダーレックス・パッケージング・テクノロジーズ社の買収に伴い、ヘンケルジャパン株式会社とGCPジャパン株式会社が合併し、社名をヘンケルジャパン株式会社とする
2021	• 横浜・アジアパシフィック技術センター内にショールームをオープン
2022	• 資生堂のアジア太平洋地域におけるプロフェッショナルヘアビジネスの買収を完了
2023	• ジャパンビューティーイノベーションハブを東京にオープン
2024	• 日本におけるビジネス 70 周年



東京本社



横浜/  
アジアパシフィック技術センター

## 会社概要

商号	ヘンケルジャパン株式会社 [英語表記] Henkel Japan Ltd.
本社	〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲 Tel. 03-5769-6427
代表取締役社長	浅岡 聖二
事業内容	化粧品、医薬部外品、接着剤、表面処理剤ならびにこれらに関連して使用する機械装置および器具の輸出入、製造、加工および販売、ほか
社員数	781名（2024年12月末現在。グループ会社を含める）
資本金	4億9900万円
事業年度	1月1日～12月31日

## ■ アドヒーズブ テクノロジーズ (接着技術) 事業

横浜・ アジアパシフィック 技術センター	大阪・ アジアパシフィック 技術センター	名古屋営業所	日野事業場	加古川事業場	厚木事業場
〒235-0017 神奈川県横浜市磯子区 新磯子町 27-7 ..... Tel. 045-758-1800	〒562-8586 大阪府箕面市船場東 1-11-9 ..... Tel. 072-730-8880	〒460-0002 愛知県名古屋市中区 丸の内 2-18-15 51KT ビル 7F .....	〒529-1608 滋賀県蒲生郡日野町 大字大谷東山 341 ..... Tel. 0748-53-1111	〒675-0011 兵庫県加古川市野口町 北野 825 ..... Tel. 079-426-2188	〒243-0807 神奈川県厚木市金田 100 番地 ..... Tel. 046-225-8800

## ■ コンシューマーブランド事業

### プロフェッショナル事業本部&コンシューマー事業本部

#### 東京本社

〒140-0002  
東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲14F  
.....

Tel.03-5769-6427（プロフェッショナル事業本部）  
Tel.03-5783-1826（コンシューマー事業本部）

### ジャパンビューティー イノベーションハブ

#### (研究開発施設)

〒140-0002  
東京都品川区東品川2-5-5 HarborOneビル4F・5F  
.....

### ● プロフェッショナル事業本部 営業オフィス

東京 / ASK Academy TOKYO	名古屋 / ASK Academy 名古屋	大阪 / ASK Academy 大阪	福岡
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲14F・15F ..... Tel. 03-5783-1825	〒460-0002 愛知県名古屋市中区 丸の内 2-18-15 51KT ビル 6F ..... Tel. 052-203-9281	〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江 1-1-14 四ツ橋中基ビル 2F ..... Tel. 06-6537-6552	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 1-13-1 九勸承天寺通りビル 12F ..... Tel. 092-687-8660

### ● コンシューマー事業本部 営業オフィス

東京	名古屋	大阪・中四国	福岡
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲 14F ..... Tel. 03-5783-1826	〒460-0002 愛知県名古屋市中区 丸の内 2-18-15 51KT ビル 6F ..... Tel. 052-201-9031	〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江 1-1-14 四ツ橋中基ビル 2F ..... Tel. 06-6537-6675	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 1-13-1 九勸承天寺通りビル 12F ..... Tel. 092-687-8662